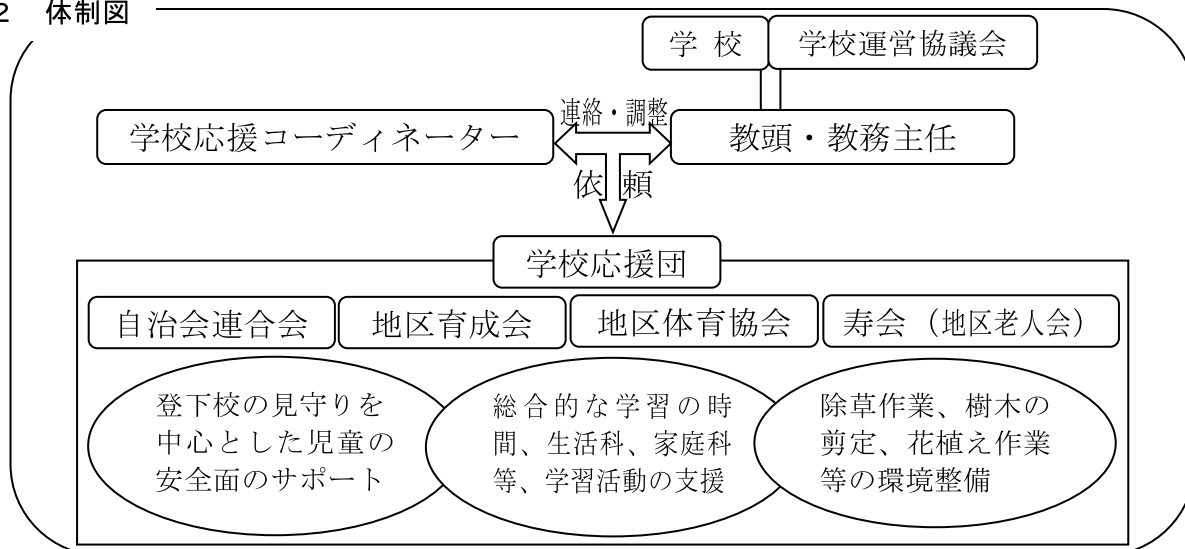


行田市立荒木小学校の実践

1 児童数・学級数 131名・8学級

2 体制図



3 学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	1名
担い手	自治会からの推薦を受けた地域住民(現任者は前体育協会会長)
行っている業務	○学校(教頭、教務主任、担当者)との連絡・調整 ○各協力団体との連絡・調整・依頼内容伝達 ○新たなボランティア募集の呼びかけ

4 充実・発展に向けた工夫

平成29年度に見沼中学校(本校児童進学先)区学校応援団として、小学校3校、中学校1校で再編成した。コーディネーターは各学校区の諸団体との連絡・調整を担っている。

(1)【コーディネートの工夫】

コーディネーターが、地域の窓口として学校との連絡を密にし、学習支援や環境整備の活動について、必要な支援、応援が実施できるよう取り計らっている。地域人材の状況に詳しい方なので、ニーズに応じたコーディネートをしていただくことが可能である。

(2)【地域各団体との協力体制の確立】

応援団組織は、地域諸団体をベースにしている。コーディネーターが各団体の長と学校との間をつなぎ、各団体の人材の力を学校の支援に有意義に役立てている。

5 特徴的な活動内容

コーディネーターの呼びかけにより、学校環境整備作業を地域の大勢の方々の協力のもと実施している。本年度は、体育協会、育成会、自治会連合会の協力をいただき、200名ほどの参加を得た作業が実施できた。



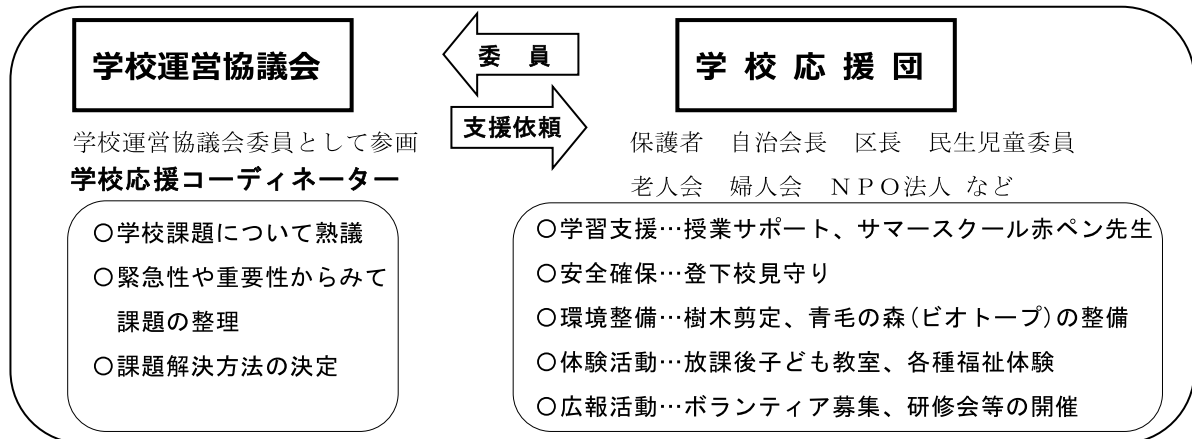
【学校応援団による除草活動】

6 成果と地域の方の声

学校応援団として、子供たちの安全の見守り、地域の防犯、環境整備、学習支援と、様々な活動を実施することができた。特にご協力いただいた地域の方々からは、「子供たちと一緒に活動できて楽しかった」「学習に貢献できて嬉しかった」などの感想をいただいた。今後も活動を継続し、応援団を軸に地域と学校との連携をさらに深めていく。

久喜市立青毛小学校の実践

- 1 児童数・学級数 334名・14学級
 2 体制図



3 学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	1名
担い手	自治会長（学校運営協議会委員）
行っている業務	<ul style="list-style-type: none"> ○学校やボランティアとの連絡・調整 ○学校運営協議会と地域を繋げる ○放課後子ども教室や福祉体験など体験活動の推進

4 充実・発展に向けた工夫

(1) 【学校運営協議会との連携した取組】

学校運営協議会での熟議を通じて、学校及び地域の課題が明確となる中、学校応援コーディネーターが学校運営協議会のメンバーであることから、学習支援をはじめとする様々な支援依頼がスムーズに行われるようになった。



【サマースクール赤ペン先生】

(2) 【放課後子ども教室との連携】

学校応援コーディネーターが放課後子ども教室の執行委員であることから、放課後子ども教室で行う講座等の調整や連携が図られ、今年度、新たな取組として漢字検定を実施することができた。

5 特徴的な活動内容

学校運営協議会で一人暮らしの高齢者の引きこもりが問題として上がり、運動会への招待状の配付により、当日は多くの方が来校、子どもたちの頑張る姿にたくさんの応援と拍手をいただいた。学校の強みは、地域を笑顔に元気にする力をもっていることである。



【高齢者の運動会への招待】

6 成果と地域の方の声

学校応援コーディネーターが学校運営協議会の一員となることで、学校の課題のみならず地域の課題にも学校応援団との連携により対応することができ、学校と地域にWIN-WINの関係を築くことができた。地域の住民からは、学校のことがよく分かるようになった、子供たちから元気をもらった、何か協力できることはないか、などの声が聞かれるようになった。

三郷市立彦成小学校の実践

- 1 児童数・学級数 529名・19学級
 2 体制図



3 学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	6名 (各ボランティアリーダー)
担い手	PTA 会長、読み聞かせ、農業、見守り隊、おやじの会、図書整備
行っている業務	○学校・各ボランティアとの連絡・調整 ○各ボランティアの活動推進 ○新たなボランティアの募集活動

4 充実・発展に向けた工夫

(1) 「学校応援団コーディネーター会議」の実施

学期に一度コーディネーターと学校との連絡会議を開いている。「活動状況報告」「活動計画・実施の課題等を協議」「連携に向けた懇親」を行い、協力体制を確立している。

(2) 体験活動の充実を図る連携

①読書②農業③学習④地域と関わりの4つの体験に分け、学校応援団に協力いただく活動を明確にして、常に協力し合って取り組めるようにしている。

5 特徴的な活動内容

(1) 読書に係わる体験活動

- ・読み聞かせ・夏休み図書館開放でのエプロンシアター

(2) 農業に係わる体験活動

- ・田植え・稲刈り体験・農業・農作業見学 (5・3年)

(3) 学習に係わる体験活動

- ・家庭科のミシン学習支援 (5年)
- ・総合的な学習での職業紹介の講話 (6年)

(4) 地域と関わる体験活動

- ・生活科の昔遊び教室 (1年)
- ・地域の伝統芸能「里神楽・二郷半囃子」鑑賞 (全校)
- ・おやじの会イベント(夏休み・紙飛行機飛ばし大会)



「昔遊び教室」



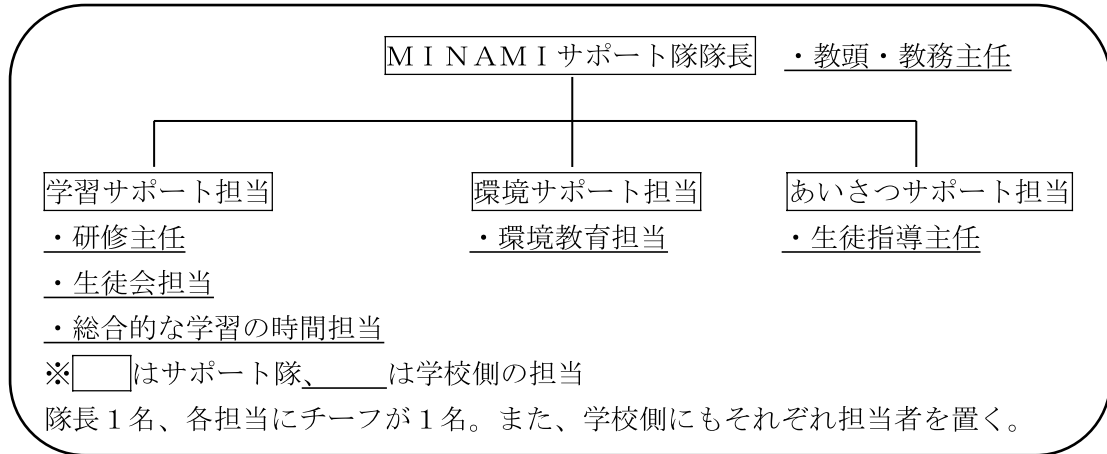
「里神楽・二郷半囃子鑑賞」

6 成果と地域の方の声

学校応援団との連携により、児童が人とのふれあい体験を通じて学びへの意欲を味わえた。地域からは、今後も専門性を生かし児童とふれあっていきたいとの声をいただいた。

蓮田市立蓮田南中学校の実践

- 1 生徒数・学級数 322名・11学級
 2 体制図



3 学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	1名
担い手	学校応援団 (MINAMIサポート隊) の代表者 (隊長)
行っている業務	○学校と応援団、応援団の方々の連絡・調整

4 充実・発展に向けた工夫

- (1) ボランティア登録者を、学校だより等を通じて、蓮田市内在住者（保護者も可）から募集する。
- (2) 運動会、合唱コンクール等の行事に応援団の方々を招待し、生徒の活動の様子を見てもらおう。
- (3) 年に1回総会を開いて、その年度の活動状況を報告し、次年度の計画を知らせることで、応援団の方々が活動に参加しやすい環境をつくる。

5 特徴的な活動内容

(1) 3つのサポート隊の活動内容

ア 学習サポート隊

- ・授業での学習補助をはじめ、放課後や夏休み補習の学習補助などを行う。

イ 環境（緑化・修繕・整備）サポート隊

- ・校内の花壇やプランターへの植栽や水やり、学校周辺の花壇づくり、雑草抜き、樹木の剪定、学校農園作りなどを行う。
- ・施設の修繕・整備やペンキ塗りなど環境を整える。

ウ あいさつサポート隊

- ・朝の登校時に、正門付近であいさつ部隊（生徒）、生徒会や先生方とともに、あいさつ運動を行う。



6 成果と地域の方々の声

【成果】

- ・学校応援団の活動が職員や生徒、保護者の間に定着してきた。

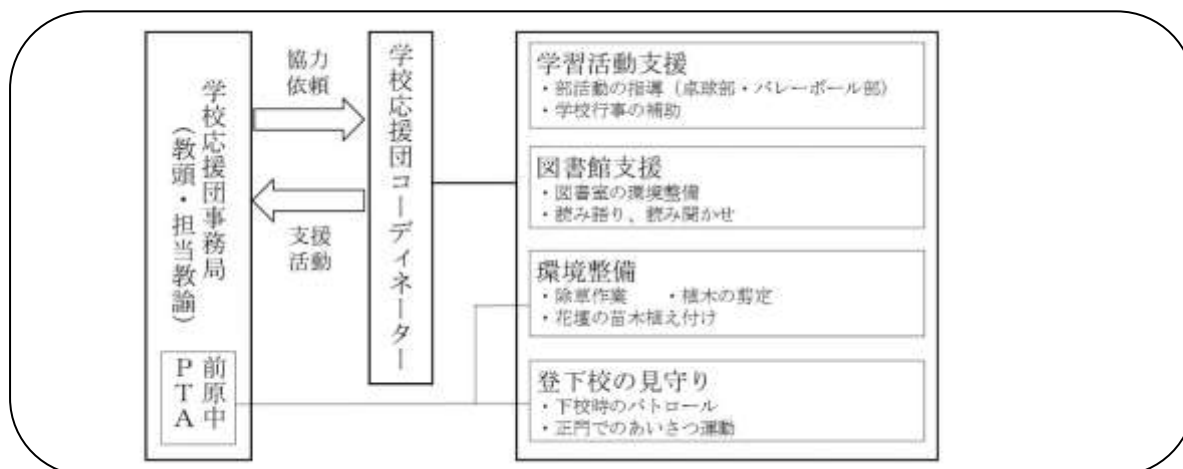
【環境美化】

【地域の方々の声】

- ・「応援団の方々が高齢化し、団員の人数が減ってきていることをなんとかしたい。」

宮代町立前原中学校の実践

- 1 生徒数・学級数 193名・7学級
 2 体制図



3 学校応援コーディネーターについて

コーディネーター数	1名
担い手	元PTA関係者
行っている業務	○学校応援団事務局、個々のボランティアとの連絡・調整

4 充実・発展に向けた工夫

(1) 活動内容の確認と情報の共有

学校応援団の除草作業や樹木の剪定などの活動と、環境整備や登下校の見守りなどのPTA活動がそれぞれに行われているので、学校とコーディネーターとの間で打ち合わせを定期的に行い、活動内容を確認しあい、情報を共有している。

(2) ボランティアの確保に関する工夫

年度当初、保護者及び地域に「学校応援団」募集のお知らせを配布し、希望される方を応援団として登録している。応援団として登録いただいた方には、毎月「学校だより」をお届けし、学校の様子が伝わるように配慮している。また、応援団の方の近くに住んでいる生徒に学校だよりを届けさせ、応援団の方との交流を図っている。

5 特徴的な活動内容

学習活動ボランティアでは、バレーボール部や卓球部の指導を、応援団の方が顧問と連携して指導をし、生徒個人やチームのレベルアップを目指している。図書ボランティアでは、読書活動推進のため、朝読書の時間に読み聞かせやブックトークを定期的実施している。



〔読み聞かせ〕

6 成果と地域の方の声

地域の方や保護者が教育活動に参加する機会が増えたことで、学校教育活動に対する理解や家庭や地域との連携が深まった。また、部活動の指導に協力いただくことにより、技術の向上とともに、顧問を務める教員の負担軽減につながった。

地域の方からは、「学校応援団としての活動を通して、学校を知る良い機会になった」「子どもたちが元気に活動する姿がボランティアの励みになる」「学校と共に子ども達を育てる・見守っていくという連帯感を感じることができる」等の感想をいただいた。